

ふみづき
七月 文月

お茶の水小学校 改築問題



小学校



幼稚園 仮園舎

お茶の水小学校は、1993年4月に「錦華小学校」「小川小学校」「西神田小学校」の3校が統合し、旧錦華小の校地に「お茶の水小学校・幼稚園」として開校しました。

ちなみに各校の卒業生には、錦華小→夏目漱石（小説家）、小川小→加賀まりこ（女優）、西神田小→三宅裕司（タレント）さん達がいます。

校舎は昭和48年竣工で築後43年、体育館は昭和40年竣工で築後51年になり、老朽化が顕著となっています。また、幼稚園舎は平成5年に隣接する錦華公園に仮園舎を設置して以来、暫定利用の形で現在に至っています。

さて、表題に「改築問題」と記したのは、昨年の決算・総括質疑において、区は学校の改築については移転建替えも検討していて、移転先候補地の明治大学と協議している事が判明しました。場所は旧明治大学附属中高の場所で、現お茶小の土地と交換するとの内容であり敷地面積は現在地の約1.5倍になるそうです。

議会では、区が大学との協議を議会に報告せず、秘密裏に進めていた事を問題とし特別委員会を設置し調査していたところ、地域および保護者1,200余名からなる「…現在地において建てかえることを求める陳情」が提出されました。

委員会では陳情者の方々を参考人として招き意見聴取をし、それまでの調査結果も踏まえ陳情の採決を行なった結果、賛成多数で「…現在地において建てかえることを求める陳情」を採択いたしました。（陳情は採択しましたが、今後は地域協議会で議会意見も踏まえ結論を出していただきます）

私の考えは、区及び教育委員会に対し、教育環境の向上を図るため、議会の審議結果も尊重し、可及的速やかな対応を望みます。

千代田区議会 議員 小林やすお

